

=====

RIKKYO UNIVERSITY
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE

2020. 12. 22

=====

こんにちは。立教大学ボランティアセンターメールマガジン 12月22日号です。

冬季休業期間を控え、今年もカウントダウンが近づいてきましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？例年は、クリスマス、忘年会、帰省、旅行、新年会などのイベントが重なることが多い年末年始ですが、今年は新型コロナウイルスの影響で、前例のない休暇を過ごされることと思います。家族や親しい友人たちと過ごす時間も制限され、大変な時が続きますが、みなさんが、よいクリスマスと新年を迎えることができますようお祈りしています。



CONTENTS

- (1) ボランティアセンター関連イベント開催のご報告
- (2) ボランティアセンターからのお知らせ
- (3) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報
- (4) オンラインで参加できるボランティア・イベント等の紹介

=====

(1) ボラセン関連イベント開催のご報告

=====

【立教大学バリアフリー映画上映会終了のご報告】

2020年度 立教大学バリアフリー映画上映会

◆開催日時 2020年12月11日(金)※授業休講日
13:00-15:00 (開始10分前よりZoom入室可能)

◆プログラム: バリアフリー映画上映会についての紹介動画の放映
(音声ガイド、一部文字通訳と手話付き)
・ボランティアセンター長・平野先生のご挨拶
・映画上映

◆対象 立教大学の学部・大学院生、教職員

◆zoomによるオンライン上映(先着30人、無料)
※予約後キャンセルする場合は速やかにご連絡ください

◆今年度の上映作品
「**バベルの学校**」(日本語字幕、音声ガイド付き)
20の国語からなる24人の生徒が住むバベルのある中学校。言語文化が異なる中で衝突や協力、そして異文化理解も映し出したフランスのドキュメンタリー映画。☆「多文化」や「教育」に関心のある学生必見!!

◆申込方法 立教時間にて11月5日より申込開始
私たちはしようかりの有無にかかわらず、ともに楽しむことができるよう環境を整えた「**だれでも楽しい映画会**」を毎年新座キャンパスで学内外の方向けに開催しております。今年度はコロナウイルスの影響により、初の学内限定オンライン上映となります。私たちの活動は学生実行委員会、ボランティアセンターを中心に、他サークルや外部団体のご協力のもとに成り立っています。
バリアフリー対応、ボランティアサークルに興味のある学生の参加お待ちしております！
主催：ボランティアセンター、学生実行委員会

12/11（金）に、定員 30 名満員御礼のもと、学生実行委員会のメンバーとボランティアセンターが半年かけて準備してきた映画会が無事に終了しました。応援して下さった皆さま、ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

コロナ禍で例年とは違う形で開催することになった上映会の取り組みや当日の様子は、次号以降のメルマガで詳しくご紹介します。どうぞお楽しみに！

【第 5 回 Online Volu-cafe ご報告】



第 5 回 Online Volu-Café は、12 月 18 日（金）に、特別ゲストも加わり、先輩のゲスト学生 3 名、1 年生 4 名、2 年生 1 名、コーディネーター 2 名による座談会形式で行われました。

「ボランティア活動を始めた際の経験やサークルの情報等を聞くことができ、とても参考になりました。」「先輩方のお話を聞いて、自分が興味を持った活動にはとにかく一步踏み出してみようと思えました。」…終了後はこんな感想が寄せられました。ゲストの皆さんも 4 年間ボランティアサークルで主体的に活動してきたからこそいろいろな思いを自分の言葉で伝えてくれました。アドバイスが盛りだくさんのボラカフェらしさあふれる回となりました。

今後も様々な経験を持つ学生を招いてボラカフェを行いますので、ぜひご参加ください。立教時間、twitter、Instagram でお知らせします。初めての方も、リピーターの方も、お待ちしております！

以下、参加者とゲスト学生の質問や体験談など、第 5 回 Online Volu-cafe の概要です。

トークルーム 1 （ゲスト 1 名×参加者）

参加者：ボランティアに興味はあり、やってみたいけど勇気が出なくて…。初めてボランティアを始めた時はどうでしたか？

ゲスト：まず、サークルに入りました。新座キャンパスはボランティアサークルが多く、気軽にいろいろと選べる環境があります。私も大学に入ったら何かボランティアをやりたいだったので、新歓の時にサークルを決めました。活動先がたくさんあり試しやすいのが魅力で、

身構えなくても大丈夫です。子どもと接するボランティアに行ったら、自分自身も楽しくて…。ボランティアはそんなに敷居が高なくて、誰かと繋がることができれば楽しいし、友だちもできます。みんなと一緒にできるのがサークルでボランティアをする魅力だと思います。

参加者：ボランティアに興味があり、ボランティアサークルに仮入部しましたが、「これをやりたい」というのがまだなくて…。

ゲスト：私のサークルでは様々な分野の活動先があり、いろいろな体験をすることができます。私は児童養護施設で子どもと触れ合ったり、高齢者施設でご飯の介助をしたり、しょうがい者スポーツのボランティアにも関わりました。

参加者：ボランティアをしていて大変だったことはありますか？

ゲスト：地域のイベントに参加した時、企画や運営に関わるのがとても大変でした。いろいろなしょうがいを持った方や、年齢の違う人に対しての配慮が必要で、どんな人でも楽しめるようなイベントにするのは大変でしたが、やりがいはあるし、人として成長することができます。

参加者：ボランティア活動は就職活動に活かせますか？

ゲスト：私自身は就活で役に立ったと思います。ボランティアに限らず、学生生活の中で何か自分の目標を持つのはいいことだと思います。ボランティアをしていると、いろいろな事に現実味が湧き、嘘偽りのないことを相手に伝えることができます。

コーディネーター：ボランティアをしてみて、自分自身が変わったことは？

ゲスト：ボランティアは思っているよりもハードルが低く、「だれかのため」の活動ではないと思うようになり、それが魅力です。

参加者：私は環境に関するボランティアに興味があります。大学の講義を聞いて、さらにその思いが深くなりました。

参加者：池袋のボランティアサークルに入り、ボランティアセンターも気になっていましたが、まだ行ったことはないです。

コーディネーター：ボランティアセンターでは環境に関わる活動先も紹介しています。今はコロナの影響で具体的に紹介はできませんが、しばらくは情報を集めたり、経験者の話を聞いてみるといいかもしれませんね。ボランティアはいろいろなきっかけや入口があり、活動している学生は、「だれかのためにボランティアをしている。」という義務感はなく、みんな楽しそうにしています。

トークルーム2 (ゲスト2名×参加者)

参加者：大学生になったら、ボランティアをしたいと思っていました。どうやってボランティアの一步を始めましたか？

ゲスト1：サークルもボランティアも、いろいろな領域に興味がありましたが、まずはサークルに入り、自分のスケジュールにあう土曜日とか、2週間に1回できる活動なども行いながら、立教オリパラ応援団のメーリングリストにも登録して、大学からも様々な情報を得ました。

ゲスト2：私は、昔、東北に住んでいたことがあり、どこかですっと気になっていて、まずは、復興支援室(コミュニティ福祉学部東日本大震災復興支援推進室)に行ってみました。

年に3回現地を訪れると聞いて、まずはそこから参加しました。立教にはいろいろな情報があるので、大学が提供しているサービスは使った方がいいですよ！

コーディネーター：大学は様々な情報を提供していますので、ぜひ活用してください！

参加者：先輩方のボランティアの初めての時の話も聞いてみたいです。

ゲスト1：私は、ある時に、車いすソフトボールの運営スタッフになり、実際に自分で車いすソフトボールを体験しましたが、とても楽しかったです。そこに、たまたま立教生がいて、その繋がりでも、ゼミ、和太鼓、オリパラ委員会と、どんどん行動範囲が広がっていきました。

参加者：今も、車いすソフトボールをやっているのですか？

ゲスト1：今は大学の構内にも入れないので、できていません。

ゲスト2：私は、初めてのボランティアは、復興支援室に行ったところから始まったと言いましたが、実際に関わってみて、行ってみないとわからないことが多いことに気づき、そこから、いろいろなボランティアをやってみようと思い、動きました。

ゲスト1&2：アンテナを立てて、ちょっとでもやってみたいと思ったら、繋げていけたらと思っています。まずは、話してみる事が大切だと思います。

参加者：私は高齢者に関わるボランティアに興味があります。

ゲスト1：しょうがい者サッカーチームのサポートもしましたが、そこでは、幅広い年齢層が集まり、楽しくわいわいやっていますよ。

ゲスト2：地域の社会福祉協議会（社協）に行ってみても、情報がたくさんあると思いますよ。地域のボラセンのようなところですよ。

コーディネーター：地域の社会福祉協議会も、様々な取り組みや活動をしています。キャンパス周辺の豊島区や新座市、自宅のある市町村の社協を調べてみるのも、何かのボランティアや興味へのきっかけになるかもしれませんね。

（2）ボランティアセンターからのお知らせ

【冬季休業期間のボランティアセンターの窓口業務について】

12/23（水）～1/7（木）は窓口を閉室します。新年は、1/8（金）より、池袋、新座キャンパスともに、以下のスケジュールで対応いたしますので、どうぞよろしくお願ひします。

月～金 10:30～15:30

土曜日 10:30～12:30（新座キャンパスは原則として閉室です）

【要注意！】外部団体からの勧誘について

年末年始を迎え、コロナ禍で海外・国外旅行やボランティア活動などをすることができない若者を対象としたバーチャル観光ツアーなどの案内や勧誘するメールが、大学のサークルやボランティアセンターに届いています。

この種のイベントの中には、内容的に学生に向けて不適切なものがあったり、参加費等について明確な説明がなされていないものもあります。また、個人情報の取得が目的ではないかと思われるようなものもあり、安易な気持ちで参加すると、思わぬトラブルに巻き込まれる危険性もあります。

コロナ禍の中、若者を利用しようとするイベントや商法が発生していますので、十分に注意するとともに、慎重な対応をお願いします。また、万が一、在学生や卒業生などから、イベントやセミナーへの強引な勧誘を受けて困っている場合は、大学にご相談ください。

【秋学期のボランティア活動について】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本学学生ボランティアサークルのボランティア活動は、本学課外活動の基準に沿った対応を取ることになっています。

夏休みまで、ボランティアの紹介・広報活動も全て中止としてきましたが、秋学期からは、オンラインのボランティアの研修等、感染リスクのないものについては緩和し、情報提供していく予定です。情報提供が開始される際には、また HP や SNS 等でお知らせします。

なお、感染状況が好転した場合、本学課外活動の基準が緩和された場合は、それに準じてボランティア活動も基準の緩和を検討し、本学ボランティアサークル等に周知します。

引き続き、個人の責任においてボランティア活動に参加しようとする場合は、いま行なうことが本当に必要かどうかを慎重に検討し、自己責任の上行動してください。活動先が各自治体等で示している活動再開指針を遵守しているかどうかを必ず確認した上で参加するようにしてください。

以上について、不明な点や活動についての相談があれば、遠慮なくボランティアセンターまでお問い合わせください。

メール：volunteer@rikkyo.ac.jp

電話：03-3985-4651

(3) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報

みなさん、こんにちは！陸前高田サテライト事務局です。

立教大学では2011年の東日本大震災以降、岩手県陸前高田市を中心に東北各地で復興支援活動や交流活動を継続しています。現在は、陸前高田市ご協力のもと、岩手大学の方々と共に同市の地域課題解決に貢献できるようなプログラムにも取り組んでいます。

陸前高田市と立教大学の歩みを少しずつ振り返りながら、学生の皆さんが陸前高田を訪れることができるプログラムやスタッフによる耳ヨリ情報を掲載していきます！

★スタッフが出会った、たかたのことば～河野 和義さん（八木澤商店会長）

今回は本学の校友で陸前高田市内の老舗の醤油屋「八木澤商店」の会長である河野和義さんの言葉をご紹介します。河野さんは、津波で醤油工場もろみもすべて流されてしまいましたが、従業員を一人も解雇せず、従業員と共に立ち上がり工場を立て直しました。現在は、2017年に新しい中心市街地にオープンしたショッピングセンター「アバッセたかた」内や、先日オープンしたばかりの「陸前高田 発酵パーク CAMOCY (カモシー)」内でカフェや食堂も経営されています。

『今雇用を切っては、従業員の社会とのつながりなくなってしまう、震災で何もかも失った人間に対して、会社という大きな繋がりまで切ってしまったら、さらに死者が出る。俺たち

だけは雇用を継続しよう。』(立教大学林業体験プログラムでのご講話から)



立教生の皆さん、いつも記事をお読みいただきありがとうございます。

楽しいクリスマス、そしてよいお年をお迎えください！

*お問合せ 立教大学陸前高田サテライト事務局 rrs@rikkyo.ac.jp

*陸前高田サテライトの取り組みを発信中

公式 Instagram (@rikkyo_rrs) https://www.instagram.com/rikkyo_rrs/

(4) オンラインで参加できるボランティア・イベント等の紹介

NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワークより

<シンポジウムのお知らせ>

『子どもを通してつながるまちに』

◆日時：2021年1月11日(月・祝) 18:30~20:30

虐待や貧困など、さまざまな困難を抱える子どもたち。

子どもを真ん中に、地域がつながり、すべての子どもが安心して暮らせる街にしたい。

それぞれの視点から発表を通して、ともに考えてみませんか？

※シンポジウムは、会場参加とオンライン参加の同時募集ですが、本学の課外活動のガイドラインに従い、**参加を希望する立教生は、オンライン限定で申し込み**をするようにお願いいたします。

<https://toshimawakuwaku.com/2020/11/30/wakuwakuhome0111/>

(編集：ボランティアコーディネーター／広瀬)

立教大学ボランティアセンター

◎池袋キャンパス

場所：5号館1階

開室時間：月～金 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：30

◎新座キャンパス

場所：7号館2階

開室時間：月～金 9：00～17：00

※新型コロナウイルス感染拡大のため6月1日以降は短縮開室しております。

月～金 10:30～15:30

土曜日 10:30～12:30（新座キャンパスは原則として閉室です）

職員・コーディネーターともに交替で出勤・在宅勤務のため、休日授業日は、池袋・新座ともに最小人員で開室、授業休講日は、池袋・新座ともに閉室とさせていただきます。

◎ホームページ

http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html

◎メールアドレス

volunteer@rikkyo.ac.jp

◎TwitterID @rikkyo_volucen

http://twitter.com/rikkyo_volucen/

◎Instagram

https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja

配信停止を希望の場合は以下の Google Form を送信してください。

<https://forms.gle/xFtZVvd94JelNJwm7>

(C)2019 RVC all rights reserved.
